

指定管理業務モニタリング評価結果

企業総務課

1 要旨

県営水道における指定管理者制度導入施設について、毎月の報告書や四半期毎の実地の立ち入りによりモニタリングを実施している。この度、令和4年度第3四半期（令和4年10月～12月）の業務が終了したため、業務の実施状況について評価を行った。

2 評価結果

(1) 広島西部地域水道用水供給水道（第2期5年目）

対象業務		広島西部地域水道用水供給水道		
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目	H30.4.1～R5.3.31
評価期間		令和4年度第3四半期（令和4年10月1日から令和4年12月31日まで）		
総評		A	S：優良（要求水準以上の取組を実施している項目がある） A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている） B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）	
業務履行状況	項目	評価	評価内容	
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。	
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。	
	3 施設管理	○	事業実施計画に基づいた点検等が適正に実施されている。	
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。	
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。故障等臨時修繕への対応も適正に実施されている。	
	6 その他	○	清掃，環境衛生管理，地域貢献等が実施されている。	
品質向上等に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> 水道施設を延命化するため，大型ポンプ類の運転データを分析し，現在の施設の機能や状態に合わせて定期点検の時期や頻度などの見直しを行った。 		
提案項目への取組		<ul style="list-style-type: none"> 施工範囲が重複する工事の一括発注などを行い，業務の効率化と設計に係る経費の削減に取り組んだ。 三ツ石浄水場において水中ロボットを活用し，水運用を止めずに浄水池の清掃及び点検を実施した。 		
その他（課題，要望事項等）		<ul style="list-style-type: none"> 施設の延命化の取組，業務の効率化やICTを活用した効率的な水道施設の維持管理を実施しており，引き続き，水道施設の維持管理水準の向上と民間ノウハウを活用した業務の効率化を図ること。 		

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取組を実施している
- ：要求水準をすべて満たしている
- ×：要求水準を満たしていない項目がある

(2) 沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道（第2期3年目）

対象業務		沼田川工業用水道及び沼田川水道用水供給水道		
指定管理者		株式会社水みらい広島	2期目	R2.4.1 ~ R5.3.31
評価期間		令和4年度第3四半期（令和4年10月1日から令和4年12月31日まで）		
総評		B	<p>S：優良（要求水準以上の取組を実施している項目がある）</p> <p>A：良好（各項目の要求水準をすべて満たしている）</p> <p>B：要改善（各項目のうち要求水準を満たしていない項目がある）</p>	
業務履行状況	項目	評価	評価内容	
	1 運転監視	○	要求水準書に基づいた適正な運転監視が実施されている。	
	2 水質管理	○	水質基準に基づいた適正な水質管理が実施されている。	
	3 施設管理	×	排水時に上澄みのみを検査していたため、ポリ塩化アルミニウムを含む排水が敷地外へ流出するのを防げなかった。	
	4 データ管理	○	点検結果や業務内容等の書類管理が適正に実施されている。	
	5 委託・修繕	○	事業実施計画に基づいた適正な委託・修繕が実施されている。故障等臨時修繕への対応も適正に実施されている。	
	6 その他	○	清掃、環境衛生管理、地域貢献等が実施されている。	
品質向上等に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> データに基づく効果的な水運用を実現するため、坊士浄水場に日々蓄積されている処理水量や水質などの情報を元に事業年報を作成し、データの見える化に取り組んだ。 		
提案項目への取組		<ul style="list-style-type: none"> 施工範囲が重複する工事の一括発注などを行い、業務の効率化と設計に係る経費の削減に取り組んだ。 災害時や機器故障時の資材調達を迅速にするため、資材在庫管理システムに登録された資材のデータを事業所間で情報共有する体制を構築した。 		
その他 (課題、要望事項等)		<ul style="list-style-type: none"> 効率的な水運用の実現に向けた取組、業務の効率化や緊急時に備えた取組を実施しており、引き続き、水道施設の維持管理水準の向上と危機管理の強化を図ること。 ポリ塩化アルミニウムを含む排水の敷地外流出については、底面を含む複数点で検査するよう運用を変更するなど、速やかに改善を図っている。今後は同様の事例が発生しないよう、再発防止策を確実に励行すること。 		

【評価基準】

- ◎：要求水準以上の取組を実施している
 - ：要求水準をすべて満たしている
 - ×
- ×：要求水準を満たしていない項目がある